野沢中学校だより 第11号

相手を思いやり大切にする生徒
目標に向かって努力する生徒
粘り強く最後までやり抜く生徒

令和４年２月１８日（金）
〒385-0053 佐久市野沢335-１ Tel. 62-0360 野沢中学校長：松島 恒志
E-mail:nozawachu@sakushi.ed.jp Fax. 62-2401 発行責任者：小池 心吾（教頭）

人との触れあい

十四日（月）は、朝からかなりの積雪で歩道も除雪しないとまともに歩けない状況でした。学校前の道路や正門の付近は多くの生徒が通るので少し心配しましたが、早朝から多くの人が出て雪かきをしていました。野沢中の生徒と先生方、野沢北高校の生徒と先生方、地域の方々の誰もが笑顔であり、爽やかな雰囲気でした。大変な雪かきをしているのに苦痛な表情などありません。地域の方と野沢中生徒、野沢北高生、先生方、地域の方が混ざって雪かきをする姿を見ると、とても穏やかな気持ちになりました。一人で雪かきをしていれば笑顔というわけにはいきません。人との触れあいが笑顔をつくるのでしょう。コロナ、コロナで密を避け、外出を避け、人との会話を慎み・・・こんな生活を二年間も続けていれば人として大切な物を失いかねません。

校庭で雪あそびを中学生なんて何年も見たことがありませんでした。しかし十四日はその姿がありました。中学校の校庭は雪がとけるまで部活以外では足あとがつくことなどなかなかないものです。しかしこの日はたくさんの足あとが残っていました。「最近の小中学生は外で遊ばなくなった」といわれていて、寒い冬など特に部屋にこもりがちです。その中学生が進んで外に出るのですから、体を動かしたい願望が自然と出たものなのでしょう。感染予防と人との触れあいは両立が難しいのですが、「何ができるのか」をこれからも考えていきます。

学校長

3学期 期末テストが無事終了 2/9・10

2月10日14日連続した積雪は、生徒と職員の除雪作業のおかげで、あっという間にきれいになりました。みんなで力を合わせると大きな力が生まれます。体も気持ちもあたたまるとともに、達成感があります。

まん延防止等重点措置期間は対策活動のギアチェンジ

正しいマスク着用・手指消毒・常時換気・対面活動なし・給食前の手洗・前向き黙食、などを全生徒職員で徹底し、感染拡大の防止や学びの継続をめざしています。

向き合う場面や時間を減らしています

体育の時間のマスク着用

生徒同士の間隔を保っています

音楽では箏演奏、使用前後に消毒

職員の給食も黙食を徹底しています

全員が前向き・黙食が定着

教室は常時2箇所以上の換気

どこまでも　高く高く　跳べると
見たことのない景色まで

NIE「教育に新聞活用」

本校は2年間NIE実践研究校として取り組んできました。NIEアドバイザーや信濃毎日新聞社様のご支援をいただき、校内には複数社の新聞が届き閲覧や、授業での活用機会が増えました。また、信毎データベースにより過去の記事活用も進みました。そんななか、信濃毎日新聞における野沢中関連記事掲載は2年間で延べ42件となりました。掲載により、地域の方々や卒業生、多くの方に注目されたと思われます。令和４年度も継続して、新聞を活用していくと同時に学校の活動を積極的に発信していきたいと考えています。学校長方針の「野沢中プライド」のもと、野沢中が大好き・野沢中での生活が将来の宝といえるような生徒を増やせるように取り組んでいきます。

チョコから考える児童労働　佐久・野沢中1年4組の社会科授業

R3. 12. 22

カカオの生産者の気持ちを想像して話し合う生徒たち＝11月９日、佐久市野沢中学校

「これはいくらだと思いますか」。竹内克総教諭(41)が突然、かばんからチョコレートを取り出すと教室がざわついた。「100円くらい?」「300円」。さまざまな声が上がった。明かされた値段は「98円」。生徒たちは「安すぎでしょ」「お小遣いで買える」。一方で「高い」との意見も。竹内教諭が「値段を気にしたことがない人」と聞くと、生徒29人のうち半数以上が手を挙げた。「お母さんが買ってくれるから自分は気にしない」との声もあった。

竹内教諭は授業の冒頭、8月8日付信濃毎日新聞のくらし面に載った「人ごとではない児童労働

これは、いくらだと思いますか？

R3. 11. 13

鰐渕さん(右)がウガンダで作られた雑貨について話すのを聞く野沢中の生徒たち

あの時の1枚　R4. 2. 8

修学旅行で東京タワーへ

1965(昭和40)年４月

佐久市野沢中学校の修学旅行は4月早々、9台のバスを連ねて群馬から山梨まで1都6県を巡る3泊4日の旅だった。宿泊は東京・神田、神奈川の油壺、箱根小涌園。サザエのつぼ焼きが香り、子どもたちが元気に売っていた城ケ島や、バスを止めて皆で眺めた500円札に描かれた富士山の風景が忘れられない。

写真は夜の東京タワーで。グループごとの記念撮影の時、近くにいた外国人の方を誘って一緒に撮ってもらった。右から4人目が私です。

（滝沢宣子・71歳・飯綱町）

「材料は身近に」古刹で吟行・交流　佐久・野沢中

R3. 10. 8

貞祥寺で川野さん(右)と吟行し、鳥の鳴き声や風の音に耳を澄ます生徒ら

詠むことが大切」「この部分を入れ替えたらもっとよくなる」などと教えてもらいながら、句を仕上げていった。

「梅もどき寺の裏門表門」と詠んだ1年生の高橋汐菜さん(13)は「見たものをそのままではなく、工夫しながら詠むのが面白かった」。高橋さんと吟行した前島房子さん(77)＝同市中込＝は「お互いに刺激をもらい勉強し合えた。素晴らしい時間だった」と話した。

本校受験生はたいへん前向きです　（教頭が3年生と行った面接）

合格祈願

前期選抜試験前の面接練習を通して学校生活について質問させていただきました。

それは、〇〇だからです。

なぜ、本校を志願されたのですか

①挨拶は、今のように毎日姿勢正しく、声もきちんと出してきましたか？

ハイ、やり通しました。声は出していないことがありました。
3年生になってしっかりやるようになりました。姿勢が正しくないときがありました。
面接試験を意識してから、特にしっかりやっています。靴もキレイにしてきました。

②あなたの名前には、どんな意味や願いが込められているのですか。

父（母）がつけてくれたのですが、由来は・・です。とても気に入っています。
〇〇のように育つようにと両親が授けてくれました。〇〇のような人物になろうと思います。

③野沢中学校のいいところを紹介してください。

生徒や先生方がみんな明るい。挨拶がしっかりできる。授業中はしっかり取り組んでいる。みんなが仲良くて安心して楽しく過ごせています。いじめや問題がない。みんながルールをしっかり守っている。生徒と先生方の距離が近い。おもだか清掃や黙想がしっかりできる。校長先生が生徒のことをよくほめてくれる。生徒想いの先生方がたくさんいる。みんなが協力してくれる。授業中静かだけど、いざとなるとみんなしっかり考えを発表できます。

④中学校生活で心に残っていることを教えてください。

文化祭のことです。役員として企画運営にかかわることができました。文化祭でダンスの発表を全校の前でできたことです。文化祭で全校みんなが同じ時間を過ごせて一体感を味わえたことです。合唱祭に向けて学級のみんなで合唱を作り上げたことです。友達と休み時間など楽しく過ごせたことです。修学旅行です。部活動です。

⑤コロナ禍で学校生活が変わったと思われます。どんなことを心がけてきましたか？また、以前と変わったことはありますか？

毎日、健康面への意識が高まりました。野沢中ではみんなが感染防止対策をしっかり取り組んできました。マスク着用や手指消毒をきちんとしました。かぜなど、病気にかかることが少なくなりました。家族との会話が増えました。学校の存在の大きさやありがたみに気づくことができました。当たり前に思っていたことに対して、感謝の思いが生まれました。今までよりも深く考えるようになりました。前向きになりました。

⑥残りの中学校生活では、どんなことを心がけて過ごしますか？

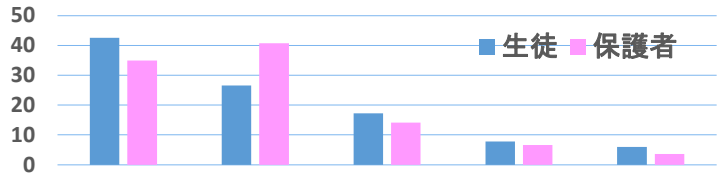
最後の授業まで集中して取り組み、教科の力をしっかりつけます。友達と過ごす生活を大切にします。多くの人と関わりたいです。卒業すると友達と離れてしまうので、よき関係を築きます。最後まで基本的な生活をやり通します。コロナ対策をきちんと行い、残りの日々、休まずに登校できるようにします。自分に対して自信がもてるように取り組みます。人の見ていない所でも善行します。見られるのではなく見せる。

学校評価アンケート（12月実施）

日頃より、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、保護者の皆様には今年度も学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回のアンケート結果一部をお知らせいたします。詳しい結果等については、後日家庭通知でお知らせします。

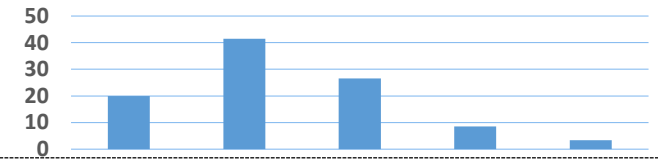
【質問9】 学校に楽しく通うことができる。（生徒）
お子さんは、喜んで学校に行っている。（保護者）

数値は%	そう思う	だいたいそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない
生徒	42.4	26.6	17.2	7.8	6.0
保護者	34.9	40.7	14.1	6.6	3.6



【質問10】 学校の授業は興味が持てて楽しい（生徒のみ）

数値は%	そう思う	だいたいそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない
生徒	20.0	41.5	26.6	8.5	3.4



今年度の学校評価アンケートでは、【質問9】に対して、生徒は69.0%（前年81.5%）が「思う」（含む：だいたいそう思う）、保護者の皆様の数字は75.6%（同80.1%）となりました。【質問10（生徒のみ）】では、「思う」（含む：だいたいそう思う）が61.5%（前年73.8%）でした。コロナ禍の学校生活において、諸活動の自粛や中止、縮小等が重なり、友人との関わる機会が少なくなったためか、数値を伸ばすことが叶いませんでした。

また、【質問9】では、生徒の13.8%（前年5.7%）、保護者の皆様の10.2%（同6.2%）が、【質問10】では生徒の11.9%（前年6.2%）が、「そう思わない」（含む：あまりそう思わない）と答えています。全学年とも学習内容の履修は完了する見通しですが、一斉学習中心の学習場面が増え、ペアやグループによる協働学習機会の減少が満足感を得られなかったことの一つと考えられます。生徒たちが喜んで安心して通うことができる学校であること、また、どんな環境下におかれても生徒たちにとって、より楽しく・分かりやすい授業となることをめざし、全職員で今後も授業改善に取り組んで参ります。

PTA行事・学校行事等のお礼とお知らせ

【３学期末テスト、前期選抜入試が無事終了】

参観日は、学年別開催としましたが「PTA学年および学級懇談会」へ、多くの皆さまにご出席いただきました。また、2月8・9日は、公立高校前期選抜試験を無事に実施することができました。全校生徒や保護者様のコロナ感染防止への対応やご協力ありがとうございました。後期選抜試験は、3月9日（水）・10日（木）に行われます。

【PTA理事会・常任委員会】

これまでの活動に対する役員様、会員の皆様のPTA活動へのご支援ご協力をありがとうございました。予定されていた2月9日（水）の各会の開催は、中止となりましたが、地区ごとに新年度役員さんが決まり、引継ぎが進んでいます。令和４年度もよろしくお願いします。

【卒業証書授与式について】（昨年同様、内容や出席者の縮小とともに時間短縮して開催します）

◇期　日　3月17日（木）　◇会場　本校体育館
◇日　程　開場 8：40　授与式 9：00～10：00
◇参加者　卒業生と卒業生保護者（各家庭2名まで）、在校生代表1名、職員、市教委1名
◇その他　在校生は教室にて映像を視聴しながら参加をします。卒業生家庭に、当日の案内を通知していますので、日程等をご確認ください。

令和2年度
卒業式の様子

今年度は佐久市GIGAｽｸｰﾙ構想に係る1人1台端末整備と活用が進みました。今後は生徒にとってのわかる楽しい授業や情報活用能力の向上、職員の業務改善をめざし、chromebookの積極的な活用を推進していきます。

「教育の情報化資料」文部科学省

中学校説明会（2/3）を開催しました

２月３日（木）に来春、野沢中入学予定の６年生保護者を対象に、学校説明会を開催（zoomによるｵﾝﾗｲﾝ方式）しました。今後、６年生向けに本校職員が野沢小・泉小・岸野小の３校において、学校生活などの説明をさせていただく予定です。６年生の皆さんが、４月に新入生として入学してくるのを本校生徒および職員が楽しみにしております。入学式は４月６日（水）午後を予定しています。新入生は約160名となります。

もうすぐ、みんなは進級・入学の時期を迎えます。友達や先生との関わりや、今見える景色などを大切に、目に心にしっかり刻んでおこう

3月　月暦表

日	曜	朝	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	校内の会合・行事など
1	火	読書	49	50	51	52	53	生	安全点検の日
2	水	生報	54	1	2	3	4		
3	木	読書	5	7	8	9	6		２年内科検診
4	金	読書	10	11	12	14	13		
5	土								
6	日								
7	月	読書	15	16	17	19	18		
8	火	読書	20	21	22	23	学		
9	水	読書	総	総	総	総	総		後期選抜入試①
10	木	読書	24	25	26	27	28		後期選抜入試②
11	金	読書	29	30	31	32	33		
12	土								
13	日								
14	月	読書	34	35	36	37	生徒会		３年生を送る会
15	火	読書	38	39	40	41	42		
16	水	読書	43	44	45	式	学	準備	終業式　卒業式準備
17	木	学年	卒業式　離別式						卒業証書授与式
18	金	年度末休業～4/5まで　後期選抜発表							

３月30日（水）　新年度準備登校日（1.2年生）

４月６日（水）　始業式・入学式

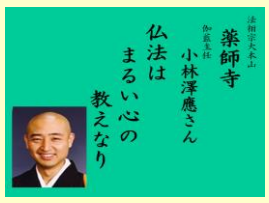
「オウムの消防」 今から11年前、震災前日（H23.3.10）にあった本校薬師寺法話を紹介します。

当時本校２年生が修学旅行の学習を進めていた頃、奈良薬師寺僧侶：小林澤應さんが来校してくださいました。小林さんは、高校時代に師匠高田好胤さんと運命的な出会いがあり、その時聞いた話がきっかけとなり、仏門に入られたのだそうです。どんなお話だったでしょう。

ヒマラヤ山の中腹に大きな森がありました。そこにはたくさんの動物が住んでいて、みんな仲良く暮らしていました。ある日、大きな風が吹いて、木と木が擦れ合って、山火事が起こったのです。動物たちは、自分たちの行き場を失い、なき叫んでいました。 その中に1羽のオウムがいました。山中にいたオウムは、その中腹から麓に一目散に飛んでいきました。そして池を見つけ、水の中に自分の体を浸して、再び山火事の上空に飛んでいきました。そこから、自分の体を振るい、一生懸命森に水を浴びせます。 それを何度も繰り返すのです。そのうちに力尽きて、命を失いそうになりましたが、その繰り返しをやめません。その様子をお釈迦様が見ておられました。そして、こう言いました。「オウムくん、この数十里にわたる山火事をお前の羽一つでどうやって消し止めることができようか。」 すると、オウムは答えました。「志あるところにできないことはありません」「この育てて頂いた森への恩返しのために　命が尽きるまで続けさせて頂きたい」。お釈迦様は深くうなずいて、にっこりとほほ笑みました。その後、黒い雲が現れ、雨が降り出し、山火事がおさまったのだそうです。

高田さんは、「この話をどう受け止めるか、どう生かすかはあなた方にお任せします」と伝え、お帰りになりました。小林さんは、**「志あるところにできないことはない」**というオウムの言葉に衝撃を受け、仏門への道を志したそうです。小林さんの話を聞いた本校２先生も衝撃を受けました。その話を聞いた1日後、あの未曾有の震災が起こったのでした。オウムの話を聞いていた生徒たちは、「被災地のために、私たちにできることをしよう。」といって、校内での募金活動がはじまりました。それから一か月経った４月、修学旅行で薬師寺を訪ねることが叶いました。小林さんは、今回が、修学旅行生向け最後の法話になります。といって、最後の学校、野沢中生のために、力のこもったお話をしてくださったのでした。「日本の復興のために、全力でがんばろう。」小林さんと生徒たちが約束しました。「たとえ一人でも・・・、やり通すぞ。」旅行後の生徒たちは、学校生活においても行動力が高まりました。日本中で絆プロジェクトといって復興をめざす活動が盛んになりました。日本人の底力が発揮された日々でした。その修学旅行中に、いただいた蓮は、その夏きれいに咲きました。その後も育ち、新しい根が増え続けています。蓮は、秋に葉を枯らした後、冬の期間は、泥中で根を育てています。まもなく、新芽や新葉を出します。
毎年4月に育った根を泥中から取り出すのですが、立派な育ちにおどろきます。
学校の新年を迎える時期、勇気と元気が湧いてきます。

まもなく、野中で育った生徒たちの巣立ちの時が近づいています。
野中で育ち、成長した生徒の活躍が楽しみです。今年度、全校生徒と職員で力を合わせ取り組んだことは、皆の心に深く刻まれることでしょう。令和３年度のゴールまで一か月です。最後まで、全校皆で力を合わせ、コロナ禍を無事に乗り越えましょう。



バイタル社製の自動水栓装置。センサー感知による吐水とボタンを押すと連続吐水装置がついています。感染防止対策も進み、とてもありがたいです。現在、三階男女トイレに各3機ずつ設置済み。今後、バイタル社様から寄贈された装置が各階の流しに設置される予定です。

【保護者や地域の皆さまへ お知らせ・お願い】

- １月末からのまん延防止等重点措置による活動自粛や日程変更、本人家族の体調異変時の登校自粛等、ご理解ご協力をありがとうございます。継続して対応をお願いします。今後もｵﾝﾗｲﾝ配信時は、確実な内容確認をお願いします。また、感染性疾患等の事案が生じた際は、担任または学校への連絡を速やかに、かつ確実にお願いします。
- 登下校時の保護者送迎において学校近くの商業施設等駐車場への駐車や通り抜け、学校付近の路上停車により、店舗やお客様、通勤者の迷惑になることがあります。他者所有地への侵入や駐車、路上停車による通行の妨げについては改善してください。けがや体調不良、止むを得ず等の理由による送迎の際には、校地内駐車場を使用してください。また、校地内乗り入れの際には、生徒の通行にもご留意いただき、安全走行やルール遵守をお願いします。
- 今年度も「学校だより」を地域の皆様に回覧させていただき、多くの皆さまに学校の様子を知ってもらうことができました。配付のご協力等いただき、ありがとうございました。あたたかい応援の言葉も寄せられ、励みとなりました。今後も学校へのご意見・ご要望等ございましたら、教頭までご連絡ください。
- 学校だよりは次号（３月配付）が今年度最終となります。

よろしくお願いします